

令和6年度 総合防災訓練 救護班による「救急バック作り体験」「止血処置訓練」(寄宿舍No.8)

救急バック作りは、グループごとにテーマを決めて、それに関連する救急アイテムを選び、一定量を越えないように袋詰めしました。あるグループでは、『擦り傷・切り傷の処置に必要な物』をテーマに、優先順位を考えながら“ガーゼ”“包帯”“固定テープ”“はさみ”などを選んで収納していました。

止血訓練では、一般的な方法として、①直接血液には触らないこと(ビニール手袋を着用)。②傷口をガーゼなどでしっかり押さえること。③怪我をしたところは、心臓よりも高い位置にすること(出血が少なくなる)。以上3点を意識しながら処置訓練を行いました。

